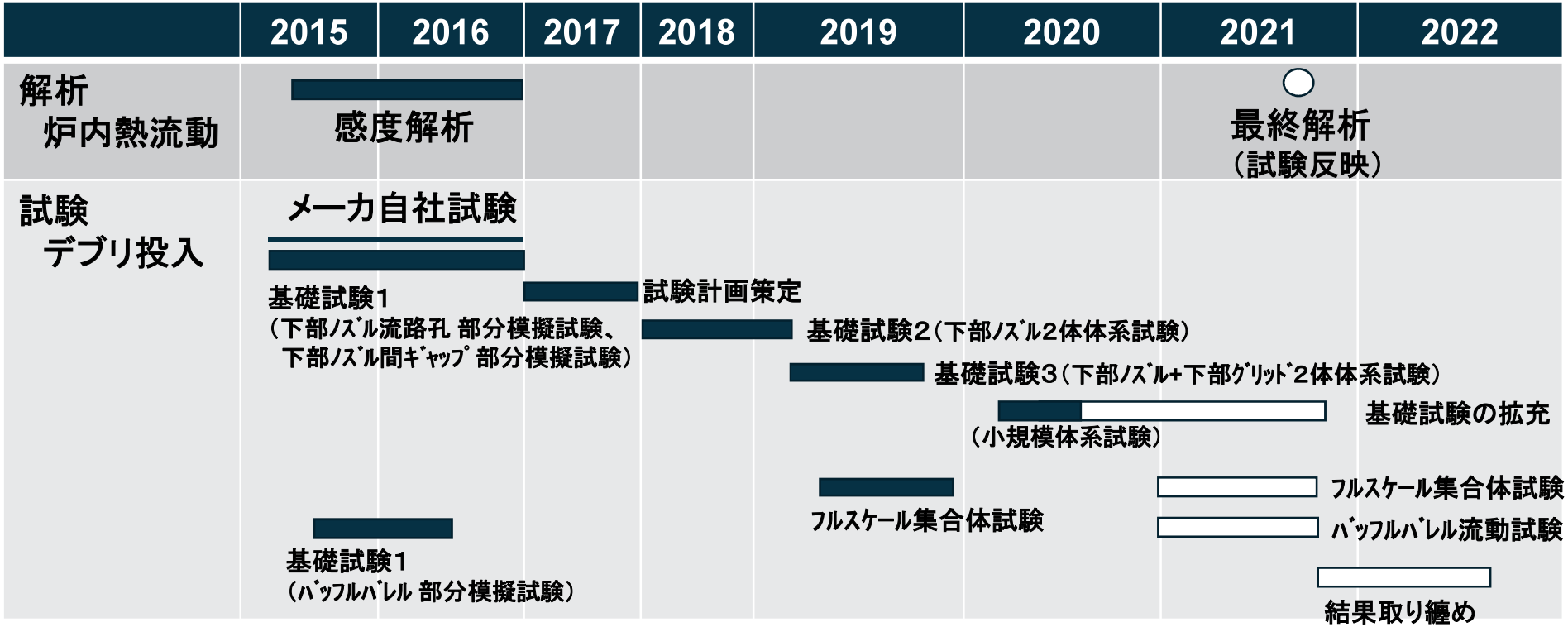
2. 全体計画(3/3) 全体スケジュール

第14回 新規制要件に関する事業者意見の聴取に係る会合
(令和2年12月7日) 資料14-1 より抜粋

■ 現在、燃料集合体2体を用いた流動試験により、炉心入口流路による炉心冷却について成立の見込みが得られた。(詳細は「3. デブリ投入試験」参照)

■ 今後は、基礎試験の拡充や、バッフルバレルを模擬した流動試験等を行い、炉心長期冷却のシナリオ成立を確認していく。

■ 本検討については、2022年度を目途に結果を取り纏める予定である。